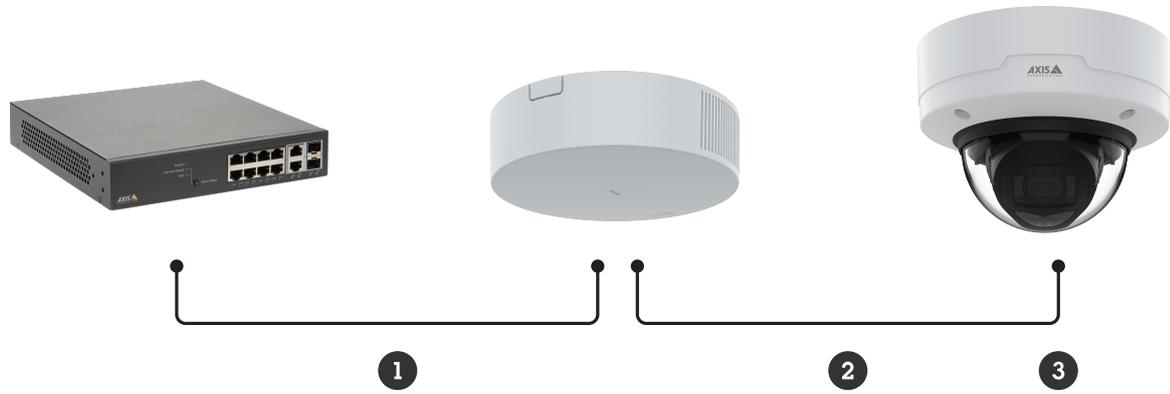


AXIS D6210 Air Quality Sensor

目次

ソリューションの概要.....	3
.....	3
インストール.....	4
デバイスを構成する.....	5
装置について.....	5
イベントのルールを設定する.....	5
アラームがあるときにビデオを録画する.....	5
アラーム発生時にMQTT経由でストロボサイレンを鳴らす.....	5
アラーム発生時、空気質センサーのステータスLEDが点滅.....	7
デバイスの初回動作のためのキャリブレーション.....	7
webインターフェース.....	8
仕様.....	9
製品概要.....	9
AXIS D6210.....	9
LEDインジケータ.....	9
コネクタ.....	9
ネットワークコネクタ.....	9
トラブルシューティング.....	11
技術的な問題、ヒント、解決策.....	11
サポートに問い合わせる.....	11

ソリューションの概要



- 1 PoE入力
- 2 PoE出力
- 3 ホスト装置

インストール

重要

- 大きな通気口や汚染源のある場所からは、少なくとも1.5メートル(4.9フィート) 離して設置してください。これには、通気口やドア、窓、調理場などが含まれます。
- このデバイスは、空気が自由に流れる位置に設置してください。
- ベイピングや喫煙を効果的に検知するには、床から2.4~2.7メートル(7.9~8.9フィート) の高さの天井に設置してください。
- 空気品質や環境監視を効果的に行うには、床から0.9~1.8メートル(3.0~5.9フィート) の高さに設置してください。

取り付け方法の詳細については、インストールガイドを参照してください。

デバイスを構成する

装置について

サポートされているホストデバイスにデバイスを接続すると、**Air quality monitor (空気質モニター)**タブの設定がホストデバイスのWebページに表示されます。

本マニュアルで説明しているすべての設定はホストデバイスのWebページから管理することができます。

イベントのルールを設定する

詳細については、「[イベントのルールの使用開始](#)」を参照してください。

アラームがあるときにビデオを録画する

次の例では、空気質センサーがベイピングを検知したときにSDカードにビデオを録画するカメラの設定方法を説明します。

1. カメラのWebページで、[**Settings > System > Storage (設定 > システム > ストレージ)**]の順に移動し、SDカードがマウントされていることを確認します。
2. [**Settings > System > Events (設定 > システム > イベント)**]に移動し、ルールを追加します。以下の情報を入力します。
 - **名前:**ルールの名前を入力します。
 - **Condition (条件):** **Air quality monitor > Vaping or smoking detected (空気品質モニター > ベイピングまたは喫煙を検知)**。
 - **アクション:** **Recordings > Record video (録画 > ビデオ録画)**。
 - **ストレージ:**SDカード.SDカードがマウントされていることを確認します。
 - **カメラ:**カメラのビューエリアを選択します。
 - **Stream profile (ストリームプロファイル):**ストリームプロファイルを選択するか、**Create a stream profile (ストリームプロファイルを作成)**します。
 - **プリバッファとポストバッファ:** 希望の値を設定します。
3. [**保存**]をクリックします。

アラーム発生時にMQTT経由でストロボサイレンを鳴らす

この例では、カメラをMQTT経由でストロボサイレンに接続し、カメラに接続された空気質センサーがプリセット範囲外の温度を検知したときに、ストロボサイレンのプロファイルをアクティブにする方法を説明します。

重要

デバイスがストロボサイレンに接続されている場合、PoEクラス4の電源が使用されていることを確認してください。

開始する前に、以下をご確認ください。

- ストロボサイレンにプロファイルを作成します。
- MQTTブローカーを設定し、ブローカーのIPアドレス、ユーザー名、パスワードを取得します。
- カメラ内でAXIS Air quality monitor (AXIS空気質モニター)を設定します。

カメラ内でMQTTクライアントを設定する:

1. カメラのWebページで、[**System > MQTT > MQTT client > Broker (システム > MQTT > MQTTクライアント > ブローカー)**]にアクセスし、以下の情報を入力します。
 - **[ホスト]:**ブローカーIPアドレス

- Client ID (クライアントID) : 例: カメラ1
- Protocol (プロトコル): ブローカーが設定したプロトコル
- ポート: ブローカーが使用するポート番号
- ブローカーの Username (ユーザー名) と Password (パスワード)

2. [Save (保存)] をクリックし、[Connect (接続)] をクリックします。

MQTTパブリッシングのためにカメラ内でルールを作成する:

1. [System > Events > Rules (システム > イベント > ルール)] に移動し、ルールを追加します。
2. 以下の情報を入力します。
 - 名前: 範囲外の温度
 - Condition (条件): Air quality monitor (空気質モニター) > Air quality outside acceptable range (許容範囲外の空気質)
 - Sensor (センサー): 気温
 - Action (アクション): [MQTT] > [Send MQTT publish message (MQTT公開メッセージを送信)]
 - Topic (トピック): 範囲外の温度
 - Payload (ペイロード): オン
 - QoS: 0、1、または2
3. [保存] をクリックします。

温度範囲を設定する

- カメラのWebページで、[Air quality monitor > Settings (空気質モニター > 設定)] に移動します。MIN (最小) と MAX (最大) のデータを入力し、温度範囲を設定します。

ストロボサイレンで、MQTTクライアントを設定する:

1. ストロボサイレンのWebページで、[System > MQTT > MQTT client > Broker (システム > MQTT > MQTTクライアント > ブローカー)] にアクセスし、以下の情報を入力します。
 - [ホスト]: ブローカーIPアドレス
 - Client ID (クライアントID) : サイレン1
 - Protocol (プロトコル): ブローカーが設定したプロトコル
 - ポート: ブローカーが使用するポート番号
 - Username (ユーザー名) と Password (パスワード)
2. [Save (保存)] をクリックし、[Connect (接続)] をクリックします。
3. [MQTT subscriptions (MQTTサブスクリプション)] に移動し、サブスクリプションを追加します。

以下の情報を入力します。

 - サブスクリプションフィルター: 範囲外の温度
 - サブスクリプションの種類: ステートフル
 - QoS: 0、1、または2
4. [保存] をクリックします。

MQTTサブスクリプション用のストロボサイレンにルールを作成する:

1. [System > Events > Rules (システム > イベント > ルール)] に移動し、ルールを追加します。
2. 以下の情報を入力します。
 - 名前: 範囲外の温度

- Condition (条件):[MQTT] > [Stateful (ステートフル)]
 - サブスクリプションフィルター: 範囲外の温度
 - Payload (ペイロード):オン
 - Action (アクション): Light and siren > Run light and siren profile while the rule is active (ライトとサイレン>ルールがアクティブである間は、ライトとサイレンのプロファイルを実行)
 - Profile (プロファイル):アクティブにするプロファイルを選択します。
3. [保存] をクリックします。

アラーム発生時、空気質センサーのステータスLEDが点滅

この例では、CO2濃度が高すぎる場合に、空気質センサーのステータスLEDを点滅させる方法を説明します。

ルールを作成する

1. カメラのWebページで、[Events > Rules > Add a rule (イベント > ルール > ルールを追加)] の順に移動してルールを作成します。
2. 以下の情報を入力します。
 - 名前:ルールの名前を入力します。
 - 条件: Air quality monitor(空気質モニター) > Air quality outside acceptable range (許容範囲外の空気質)
 - センサー:CO2
 - アクション:I/OインターフェースステータスLED点滅
 - カラー: 赤
 - 所要時間
3. [保存] をクリックします。

CO2アラーム範囲を設定する

1. カメラのWebページで、[Air quality monitor > Settings > CO2 (空気質モニター > 設定 > CO2)] の順に移動します。
2. MIN (最小)とMAX (最大)のデータを入力し、CO2範囲を設定します。

デバイスの初回動作のためのキャリブレーション

注

- 完全なCO2精度を得るには、デバイスの初回作動時には2日間が必要です。
- AQI (空気質指数) は、デバイスの初回作動時に機能するまでに12時間が必要です。AQIは、十分なデータが得られるまで、**Calculating (計算中)**と表示されます。デバイスが再起動するたびに、キャリブレーション時間が必要です。
- 完全なVOC精度は、デバイスを1時間作動させた後に得られます。デバイスが再起動するたびに、キャリブレーション時間が必要です。
- 完全なNOx精度は、デバイスを6時間作動させた後に得られます。デバイスが再起動するたびに、キャリブレーション時間が必要です。

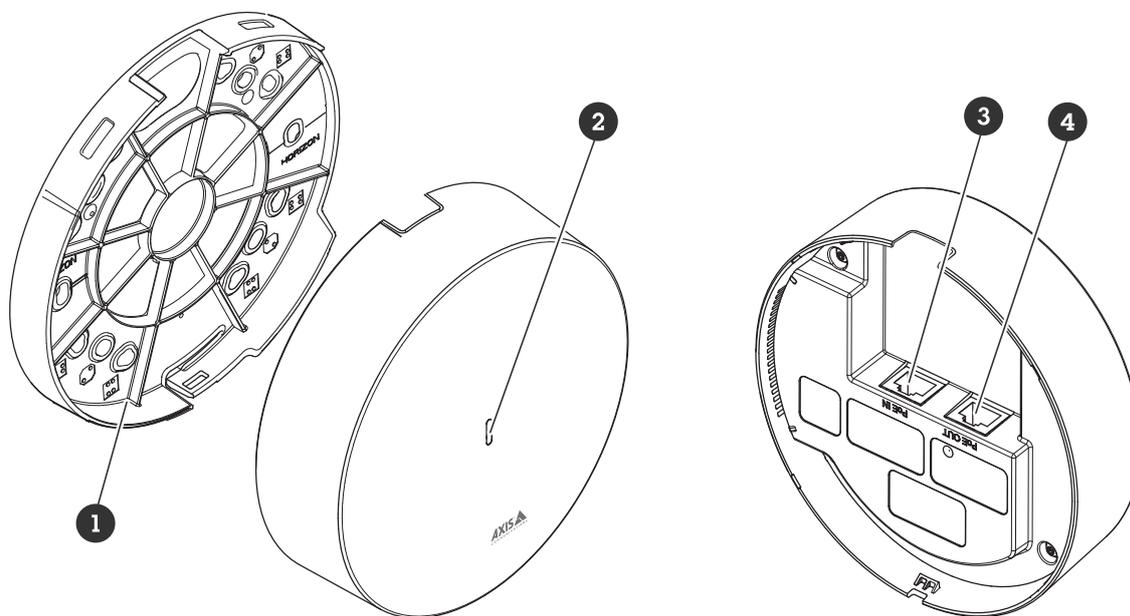
webインターフェース

AXIS OS搭載デバイスのWebインターフェースで利用可能なすべての機能と設定については、*AXIS OS Webインターフェースのヘルプ*に移動します。

仕様

製品概要

AXIS D6210



- 1 ブラケットマウント
- 2 ステータスLED
- 3 PoE入力
- 4 PoE出力

LEDインジケータ

ステータスLED	説明
消灯	接続時および正常動作時です。
緑	起動後正常に動作する場合、10秒間、緑色に点灯します。
オレンジ	起動時に点灯し、装置のソフトウェアのアップグレード中に点滅します。
オレンジ/赤	ネットワーク接続が利用できないか、失われた場合は、オレンジ色/赤色で点滅します。
赤	装置のソフトウェアのアップグレードに失敗すると、赤色に点滅します。

コネクタ

ネットワーク コネクタ

入力:Power over Ethernet (PoE) 対応RJ45イーサネットコネクタ

出力:Power over Ethernet (PoE) 対応RJ45イーサネットコネクタ

トラブルシューティング

技術的な問題、ヒント、解決策

ここで解決策が見つからない場合は、axis.com/supportのトラブルシューティングセクションに記載されている方法を試してみてください。

ホストデバイスのWebページに「Air quality monitor (空気質モニター)」タブが表示されません。

Webページが更新されていません。	ブラウザのウィンドウを更新してください。それでも問題が解決しない場合は、ブラウザのキャッシュをクリアしてください。
ホストデバイスのファームウェアのバージョンが正しくありません。	ホストデバイスに最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認してください。ホストデバイスのファームウェアバージョンを確認する方法については、ホストデバイスのユーザーマニュアルを参照してください。
ネットワーク接続が利用できない状態です。	製品のLEDインジケータを確認し、にあるLEDインジケータの表と比較してください。
入力と出力のネットワークケーブルが間違ったコネクタに接続されています。	入力と出力のネットワークケーブルを入れ替えてください。
ホストデバイスに互換性がない。	装置の製品ページに移動し、ホストデバイスに互換性があるかどうかを確認します。

Air quality monitor (空気質モニター) タブは表示されているが、空気質センサーが動作していない。

ホストデバイスが空気質センサーから切断されています。	ホストデバイスを空気質センサーに再接続し、ホストデバイスのWebページを再読み込みします。
----------------------------	---

製品に接続してもホストデバイスが起動しない

ハードウェアの問題	Axisサポートに連絡する。
ネットワーク接続が利用できない状態です。	製品のLEDインジケータを確認し、にあるLEDインジケータの表と比較してください。
入力と出力のネットワークケーブルが間違ったコネクタに接続されています。	入力と出力のネットワークケーブルを入れ替えてください。

サポートに問い合わせる

さらにサポートが必要な場合は、axis.com/supportにアクセスしてください。

T10225114_ja

2026-02 (M6.2)

© 2025 – 2026 Axis Communications AB